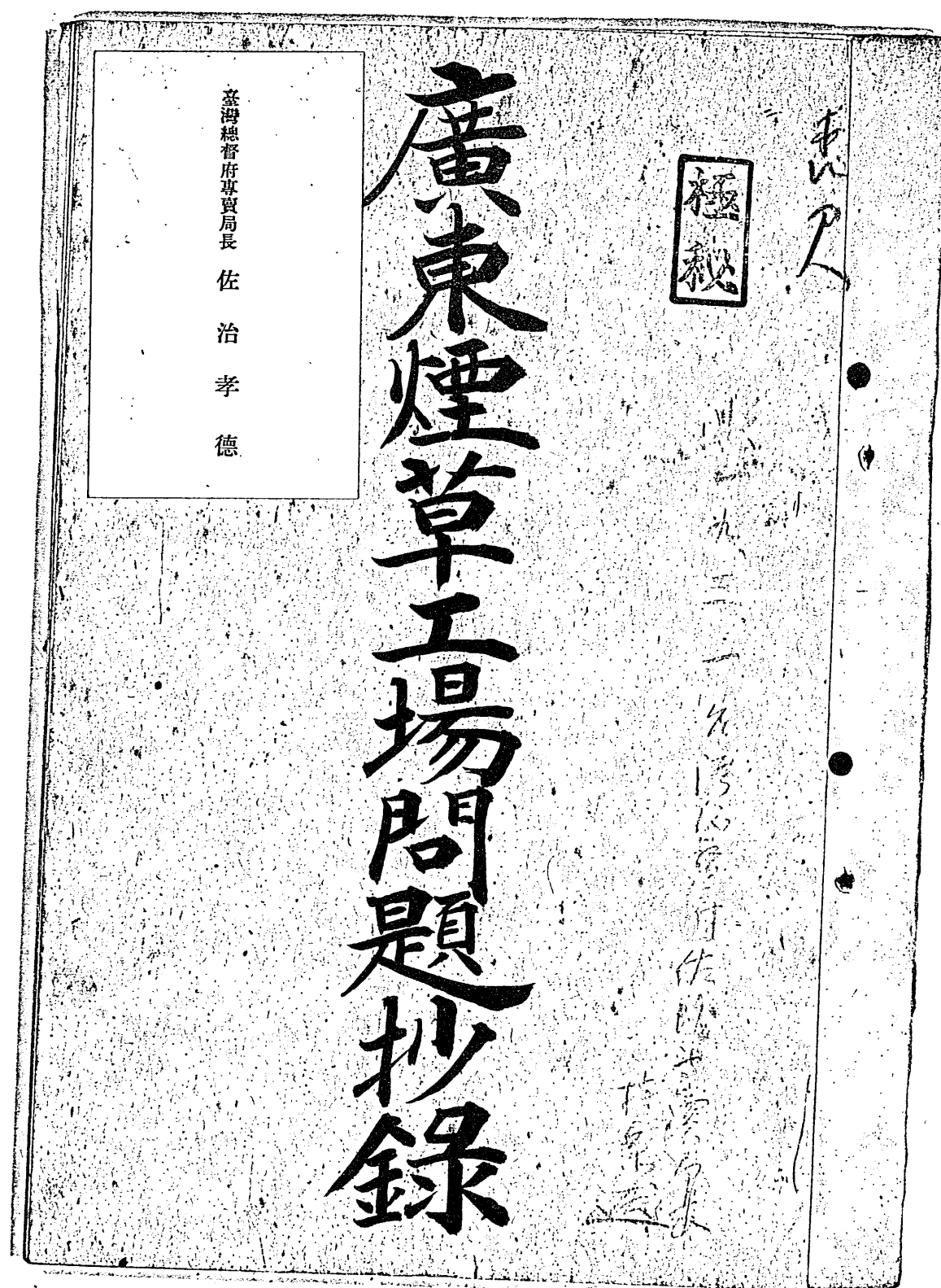


研-0648

0163



廣東煙草工場附錄

(昭和十九年二月
廣賣局)

一、廣東煙草工場問題經過概要……………一頁

二、南興公司評價概要……………一六頁

三、東亞煙草會社廣東工場評價概要……………二二頁

一、廣東煙草工場之經濟的進出
 臺灣總督府三於、テハ、夙ニ南支南洋ノ、文化的、經濟的進出ヲ企圖シ之カ、調
 査施設等ニ年々多額ノ國費ヲ吝サリシカ、最近總督府專賣局ニ於テモ亦
 此ノ方針ニ基キ專賣事業ノ擴張ニ努メ支那大陸ノ樟腦ノ調査、統制、南
 支一面ニ直ル鹽田ノ實地踏査、葉煙草ノ原産地調査、海南島ニ於ケル龍
 腦ノ調査、南洋ノ製品煙草並ニ酒ノ販賣、中北支ニ於ケル支那酒販賣
 ノ實地研究、阿片ノ生産、行政調査等、其ノ實績枚舉ニ遑ナカリシガ、偶々
 今次ハ支事變動後シ、現地ニ於テ邦人ノ企業ノ進出ヲ要求スルニ至リタル
 ヲ以テ昭和十三年六月十日株式會社南興公司ヲ設立シ、現地ノ發見ニ應
 多額ノ資本ヲ投入シ、擴張ヲ謀ルニ至ルカ次第ナリ
 一、株式會社南興公司ヲ創立スルニ先立テ現務局長兼役員村文市ハ支
 那方面ニ煙草工場ヲ建設セシムルハ、先以テ中興公司ノ中心ヲ爲ス上
 海市場ニ進出スルハ、必然性ヲ察シ、昭和十三年五月同日、目的ヲ以テ專賣局

一、廣東煙草工場之經濟的進出
 臺灣總督府三於、テハ、夙ニ南支南洋ノ、文化的、經濟的進出ヲ企圖シ之カ、調
 査施設等ニ年々多額ノ國費ヲ吝サリシカ、最近總督府專賣局ニ於テモ亦
 此ノ方針ニ基キ專賣事業ノ擴張ニ努メ支那大陸ノ樟腦ノ調査、統制、南
 支一面ニ直ル鹽田ノ實地踏査、葉煙草ノ原産地調査、海南島ニ於ケル龍
 腦ノ調査、南洋ノ製品煙草並ニ酒ノ販賣、中北支ニ於ケル支那酒販賣
 ノ實地研究、阿片ノ生産、行政調査等、其ノ實績枚舉ニ遑ナカリシガ、偶々
 今次ハ支事變動後シ、現地ニ於テ邦人ノ企業ノ進出ヲ要求スルニ至リタル
 ヲ以テ昭和十三年六月十日株式會社南興公司ヲ設立シ、現地ノ發見ニ應
 多額ノ資本ヲ投入シ、擴張ヲ謀ルニ至ルカ次第ナリ
 一、株式會社南興公司ヲ創立スルニ先立テ現務局長兼役員村文市ハ支
 那方面ニ煙草工場ヲ建設セシムルハ、先以テ中興公司ノ中心ヲ爲ス上
 海市場ニ進出スルハ、必然性ヲ察シ、昭和十三年五月同日、目的ヲ以テ專賣局

ヨリ出張ヲ命ジラルタル當時總務局煙草工場長タリシ三松技師ト
 共ニ同地ニ出張シシ煙草工場當時東亞煙草株式會社ノ取組從タリシ岩波
 三郎氏出陣中ニテ株式會社南興公司設立ノ事ヲ話シタルニ同氏等提
 案ニ依リ總務局ニ次ク如キ紳士協定ヲ結ヘリ
 一上海以北ニ於テハ東亞煙草ヲ進出ハ東亞煙草ヲシテ代行ヤシムルコト
 二廣東南洋方面ハ總務局存下シ株式會社南興公司ニ於テ具ノ實行ニ當
 三株式會社南興公司株主ニハ東亞煙草ノ參加ヲ認ムルコト
 四東亞煙草株式會社南興公司ニ協力スルコト
 五東亞煙草ハ多年ノ積貯ニ似ハズ紳士協定ヲ申出シハ全ク當時支那
 ニ於テハ煙草事業ノ實狀ニ準テモニシテ
 一同社ハ發展前英米等國ノ煙草ニ對スル地位ハ一角ニ限局シ緊
 急經營ヲ爲シ來リシ爲メ事業初發ニヨリ速力ニ事業ヲ擴張ヤント

シテモ技術者、事務員共ニ不足シ且ツ從來ノ營業地盤ノ地理的
 位置北中又チ支那トシテ相支ル面ニシテハ之ヲ克服シ且ツ進出
 ニ努力ヲ持タザリシコト
 三當時上海市場ニ於テハ東洋煙草ト獨斷ナル競爭ヲ演シ東洋煙草
 專務取締役ニシテ元來上海賣局長タリシ池田威六氏上海三
 派ノ東亞煙草主對抗中ナリシヲ以テ東亞ハ總務局ト東洋煙草
 草トノ提携ヲ極力ニ督戒シ速力ニ南興公司ヲ組織スル之ヲ迫リテ太
 陸ニ於テハ總務局ト株式會社南興公司係ヲ保持セント企圖シタルコト
 三因ルモノニシテ當時ノ東亞トシテハ之ヲ以テ或程度ノ成功ヲ齎
 子得タルモノト言ヒ得ヘシ
 然ルニ其後境地ノ狀勢ハ漸次落着キ東洋煙草トノ關係亦見返シツク
 二至リタルヲ以テ東亞煙草ハ全支煙草事業動向ノ野望ヲ現シ翌十四年
 廣東取略直後南興公司トノ紳士協定力成文ニ非サルヲ好餌トシテ之ヲ

諸君の密ニ廣東ニ代理店ハ田代太一ヲ設置シ其ノ製而ノ販賣ヲ開始
 シ右田代太一ハ南興公司創立ニ當リ東亞トシテ海協定ヲ簽置シ東
 亞代表者トシテ南興公司ハ取締役ニ選任シタル者ナリ
 田代ハ前記ノ如ク株式南興公司ハ取締役タルヲ以テ取締役會ニ列
 シ南興公司ハ廣東進出ニ就キ其ノ計劃ハ詳細ヲ知ルル地位ヲ利用シ
 南興公司ハ本誌ノ如ク煙草事業ヲ営ムルハ全ク背任行爲ナリトイフヘシ
 然レモ東亞ハ廣東ニ於テ電報局ヲ營業許可ヲ受ケタル際除煙草事業外
 テハ南興公司ト提携セヨトノ案中渡ヲ受ケタルニ合モ不問何等ノ相殺ヲ爲
 サス
 此ノ事ニ關シテハ昭和十四年七月十六日昭和初板橋淺川大佐ニ電
 府曾我部密官及南興公司廣東出張所長藤田清九ハ相殺セシタル所ト

「東亞ノ營業許可ハ南興公司ト提携シテ營業ヲ爲スコトヲ條件トセル
 ニ東亞ノ山口ナル者ヲ呼出シテ迅ネシニ何等連絡シ居ラスト云フ云々」
 ノ言アリシニ徴シテモ東亞カ自己利益ノ追及ニ無理押テ敢テセシカラ
 察知スルニ足ル
 二亞細亞實局ニ於テハ大乗の見地ニ立脚シ時局下邦人同業者カ互ニ協
 グノ醜態ヲ回避スル爲メ臺灣側ト東亞トノ合作ニヨリ臺灣ナル事業
 ノ進展ヲ計ラントシ臺灣煙草株式會社設立要項資本金三百萬圓東亞南
 興出資ヲ決定東亞ノ實同ヲ得テ其ノ實現ヲ期シタル手廣東ニ於テ新會
 社設立ノコトハ中央ノ許可スル處トナラズ關係方面ヲ奔走セシモ遂ニ
 前解ヲ得ルニ至ラス中止ノ口トモニ至レリ
 三然ルニ當時支那各地ニ臺灣ニ於テハ内外煙草需要ノ急激ナル増加ニ
 對應スルニ遺ナク自然廣東ハ供給圓滑ヲ缺タテ至ルニ同地ノ煙草
 ハ漸次拂底スル狀態トナリシヲ以テ現地ニ工場設置ノ急務ナルヲ察知

煙草協同組合は機械製造業と原料供給の技術者等事務員原料葉煙草等一切の業務を監督局より供給し茲に兩者合作に依り現廣東煙草工場を設立シタリ之が爲め臺灣總督府監督局は煙草工場に必要人物を原料供給に割愛派遣シ之等ノ者ハ現ニ同工場ニ繼續從業中ナリ右ノ外第一ニ現廣東煙草工場ハ東亞ノ宣傳セル如ク東亞ノモノ犧牲ニ於て獨り建設シタルモノナリ全然之レ無ク其ノ犧牲と稱す可キモノ也此等ノ只工場設立申請ノ名義ヲ當時便宜上眞實ニ著儀ヲ使用シタルモノ然ルニ東亞ハ今日同工場ヲ恰モ自己一個ノモノナリ如ク裝に其ノ利益ヲ悉ク自己ノ中ニ收メ居ルヲミナラズ工場設備ノ諸般ノ株式會社南興公司ニ對シ過大ノ權利金ヲ要求スルニ至レル狀態ナリ四前記華南煙草株式會社設立中止ノ由ニ付キ至リタルモ現地ノ情勢ニ即應スル必要ニ迫リ南興者合作ニ急遽工場ヲ新設シタルモノナリ

經營スル母体ヲ創設スル必要アリ依テ南興公司ヲ三百萬圓ニ増資シテ其ノ持株ノ東亞ハ舊拓四ノ割合トシ南興公司既設事業ノ中煙草事業ヲ分離シ之ニ合併經營セント計畫セシカ之又増資ニ就キ中央並ニ現地當局ノ許可ナルトコロトナラス此ノ爲メ專賣局長並ニ南興公司加藤社長ハ北京ノ上關係方面ニ百方諒解努力セシレカ遂ニ條件打切ノ目ナキニ至レリ

五前記増資ニ就キ諒解運動中ニ於ケル關係各方面ノ意圖ヲ綜合シテ結果南支方面ニ於ケル煙草事業ニ關スル限り現狀無ク於テ主動性ヲ掌握スルコト方當然ニシテ東亞對シ新會社株式會社ノ過半ヲ割當ナルカ如キハ臺灣總督府ノ方針ヲ推曲スル能ハズ増資案ノ打切ヲ補助トシテ南興公司ヲシテ南興工場ヲ買収シテ可シト示唆ヲ得タルヲ以テ臺灣總督府結果廣東工場問題ハ終ニ解決スルハ莫クハ東亞ハ至ルニ依テ專賣局公現地ノ諒解ヲ得ル爲メ川崎煙草社長ハ昭和六年四月廣東ニ派遣シ更ニ

東亞ト直接交渉セシムヘク同年五月七京セシノラレタリ
昭和十六年五月二十日前記川添長、南興公司社長加藤恭平東亞
社長長谷川太郎東京ニ會合シ川添長ヨリ中央、臺灣總督府及廣東
情報變化ト總督府ノ南支政策トヲ説明シ廣東工場ヲ南興公司ニ譲渡
府ノ政策ヘノ協力ヲ懇談セシニ長谷川社長ハ廣東工場ノ譲渡ヲ承
諾シ其ノ代價トシテ總督府所有ノ南興公司ノ株式譲渡ヲ要求セリ依テ加
藤社長ハ總督府所有ノ南興公司株式ハ督府ノ意思ニ反セサル範圍内ニテ
譲渡ヲ考慮スルルニ條件ヲ以テ長谷川社長ノ即答ヲ促催シタルニ同氏
ハ同年五月二十六日迄其ノ回答ヲ延期セヨレ度旨ヲ申出同日次ノ要求
ヲ提出セリ

一、廣東工場ハ賣却ス

二、其ノ代價トシテ臺灣總督府ノ南興公司所持ノ四九%ヲ南興公司
其外ノ持株者ヨリ五一%ニ譲スル株式ヲ要求ス

三、東亞側ヨリ専務取締役監査役ヲ入社セシムルコト
四、將來ハ社長ヲ東亞ヨリ出スコト

即チ本提案ニヨリ明確ナル如ク東亞ハ督府ノ南支政策ニ坑シ南興公司
ノ支配權ヲ掌握セントスル野望ヲ明確ニシ來リ、臺灣側ハ斯ル要求
ハ到底承認スル能ハサル處ニシテ論議續マラズ遂ニ東亞側ハ同年六月
初旬責任者ヲ現地ニ派シ工場ノ現状ヲ調査シ臺灣側ハ其ノ譲渡ノ程度
ニツキ研究スルコトトシテ別レタリ
右ニ依リ臺灣側ハ審議ノ結果同年六月一日在京加藤社長及打電シ東亞
ニ左ノ條件ヲ申入レタリ

一、南支ニ於ケル陸軍事業ハ臺灣總督府ニ於テ一元的ニ統制スルヲ荷
トス

二、北ノ以旨ニ反セサル範圍ニ於テ東亞ハ參加ヲ得ル株式合資ニ制
造スル迄ヲ限度トシテ南興公司株式ヲ譲渡ス

三 將來増資ノ場合ニ於ケル條件ハ今日決定ノ限リニ非ス
加藤社長ハ右越ヲ翌三日東亞飯谷事務一傳ヘテ以テ社長ニ報告ノ上二
三日中ニ回答スル旨返セリ
次イテ六月七日附文書ヲ以テ長谷川社長ヨリ加藤社長宛華北東亞煙草
社長江川有雄氏へ退役煙草少將經理部出身ノ才現地ニ煙草スル故其ノ
歸來ヲ欲チテ何分挨拶スル旨田越アリ
江川有雄氏ノ廣東行ト前後シテ臺灣ヨリ煙草局佐治庶務課長廣東ニ
出張セシヲ以テ現地關係ニ於テハ右兩君同力去々精誠協同
シテ結果同年七月二十日附テ以テ兩君間ニ勝手圓滿ノ決意
希望スル旨ヲ決議シ其ノ旨ヲ臺灣總督府出張所長宛通知アリタリ
六 其後臺灣側ハ三省會議ノ決議ニ基キ東亞兩打決度東亞側等對江
川重役歸京後ノ臺灣ニツキハ三管區モシモ容易ニ回答ヲ來ラズ漸ク中
一月九日ニ至リ臺灣側提案ニ對スル日本人ハ斷シサル全然別個ノ新

案ヲ提出シ來レリ、同案ハ最初ニ計劃セシ華南煙草株式會社設立案ノ
如ク別個ノ新會社ヲ創設セントスルモノニシテ斯ルコトハ當局ニ於テ
許可セラレサルコトハ充分告知シ居リナガラ今更ニ新シク提案スルカ
如キハ全く本件ノ解決ノ遷延策ト斷スルハ他無クレド臺灣側ハ尙隱
忍シ反省ノ機ヲ待テリ
七 東亞側ノ本提案ニ關シ廣東煙草總督官ハ東亞ノ廣東代表者ニ對
シ本案ノ實現困難ナル旨注意アリタル筈ニ拘ラズ尙東亞ハ臺灣側ニ約
セシ回答ノ實ヲ果サス空シク時日ヲ遷延セリ
廣東三省會議ニ於テハ義ニ兩省間ノ協議ニ依リ本件ノ圓滿解決ヲ希望
スル旨ヲ指令セラレタルニ前記東亞ノ無誠意ニ依リ停頓狀態ニ陥リタ
ルヲ看取シ改メテ昭和十六年十二月三十一日付左ノ通り決定關係者へ
夫々通達セラレタリ
八 廣東ニ於ケル煙草總督官ハ株式會社用典公司ヲシテ經營スルニ

但シ其ノ増資利率ニ關シテハ過去ノ經緯ニ鑑ミ適正ノ處置ヲ爲ス
 八東亞側ニ於テハ前決議書ノ但書記載ノ條項ヲ強イテ自己ノ有利ニ曲解
 シ増資額ハ自己ニ於テ過半數ヲ取得スル權利ヲ附與セラレタル如ク
 斯ルモ本件明文ニ示ス如ク廣東工場ハ附與公司ニ於テ經營スルモ
 ノヲ以テハ附與公司ニ譲渡スルハ當然ニシテ東亞側方同工場建設ニ致
 セル努力ニ鑑ミ附與公司ノ持分ヲ現在以上ニ幾分増加シテ道ツカ然ル
 可シト解スルカ當然ニテ別ニ東亞側ニ過半數ヲ得テ持分ヲ得ルカ如キコ
 トハ明文上何處ニモ見當ラズ
 東亞側ハ右決議書ノ交付ヲ受ケタル後モ尙舊體制ヲ以テ三ノ督促ニモ
 向ラズ言テ左右ニシテ協議ノ後留ヲ回避シ空リク時日ヲ遷延セシメタ
 ルヲ以テ廣東省連絡會議ハ翌十七日一月二十日附文書ヲ以テ重キテ
 關係者ニ對シテ來ノ通達ヲ爲サレタリ

廣東ニ於ケル煙草ノ經營ヲ南興公司ヲシテ經營セシムル件
 前題ノ件ニ關シテハ別紙昭和十六年十二月三十一日附三省連絡會議ノ
 決議ニヨリ臺灣總督府ニ解決ヲ一任其ノ指示ニヨリ速カニ圓滿解決ス
 ル如ク進捗セシメラレタリ
 右ニ依リ本解決ヲ一任セラレタル臺灣總督府公達ニ之ルヲ解決シ現
 地三省會議ノ要望ニ應ヘムト東亞側ニ對シ責任者ノ來臺ヲ促シタルニ
 之レ亦言テ左右ニシテ回答ノ來ヲサルメニナラズ東亞ノ廣東代表者ハ
 反シテ臺灣側ノ態度ヲ彼此誹謗シ臺灣總督府力多件ニ且リ東亞ニ對シ
 原料ノ供給、製品ノ購入等ニ於テ示シテ好意ノ如キハ全然忘却シ恰モ
 專賣局ヲ敵視スルカ如キ言動ヲ爲スニ至リタルハ官社擁護ノ爲メトハ
 言ヘ海ニ渡ルトスルトカバナリ
 九 臺灣總督府ニ於テ本原局長就任セラルルヤ時局ニ鑑ミ緊急本件ヲ解決
 スル方針ノ下ニ自ラ上京シ東亞側板谷喜房ト直接交渉セラレタル結果

昭和十七年三月月上旬東亞側ハ臺灣側主張ノ特殊三割案ヲ承認シ廣東工
場ヲ南興公司ニ譲渡スルコトニ決定セリ茲ニ久敷ニ亘リ紛争ヲ續ケン本
問題ハ其ノ基本協定ノ成立ヲ見ルニ至リ確證ハ細目協定ノ確立ヲ俟テ
大體固チ告ケル運ヒトナレリハ
十、臺灣側ニ於テハ前記基本協定成立ニ引續キ細目協定ヲ遂ケ本件全部ノ
解決ヲ了セムトシ東亞側ニ數度協定ニ代表者ノ派遣ヲ促シタルニ東亞
側ハ同社役員會ノ協議並東亞ノ意向ヲ打診中ト稱シテ解答ヲ得ルニ至
ラザリシカ四月二十一日板谷專務ヨリ本原局長ニ對シ責任者トシテ廣
東工場責任者青野長一ヲ派遣スル旨通知ニ接シタリ、茲ニ東亞側ニ於
テハ本案ノ解決ヲ急キ到底ノ決断ヲ編首待チタルニ同氏ハ空路歸郷チ
、臺灣側ニ上海經由北京セリ、此ノ間臺灣側ヨリハ東亞本社ニ對シ同氏ノ途中引返シヲ要求セシガ遂
ニ肯セス、其後當方再三ノ督促並飛行機搭乗斡旋ニ依リ漸ク五月十七

日着聲セリ

本細目協定ニ當リ專賣局ハ既ニ基本協定成立ヲ見タル此ノ際多少ノ諒
歩ヲシテモ是非解決ヲツケル方針ノ下ニ東亞ノ要求ニ對シ寛容ノ態度
ヲ示シタルトゴロ東亞ハ之ヲ以テ組織シト誤認シタルモノノ如ク其
ノ要求ヲ漸次擴大シ遂ニ工場譲渡後廣東ニ營業所ヲ存置スルコトヲ提
案セリ

三省會議ノ決議ニ依ル廣東ニ於ケル煙草事業ノ經營ハ南興公司ヲシテ
經營セシムトハ獨リ煙草ノ製造ノミナラス販賣チモ包含スルモノナル
コトハ自明ノ理ナルニ東亞側ハ販賣ヲ含マサルモノト解スト主張シテ
譲ラス、然レトモ專賣局ニ於テハ之ヲ讓歩スレハ全問題ノ解決ヲ得ル
モノト信シ廣東ニ於ケル東亞ノ煙草移入ヲ認ムルコトニ同意シタルニ
東亞ハ其ニ現在煙草工場經營以外ノ空テノ煙草業務經營ヲ轉割チ主張
セルノミナラス特殊問題ヲ以テ手將來煙草ノ場合ニ於ケル增加保證ヲモ

蜀系之既ニ本局局長上京ニ臨談決定請ナリル事西ノ坂古ニ於ル如キ要
求提案ヲ爲スル事モ則チ尙此外ニ但決定シタル事項ヲ更ニ蒸返シ要求
モル事項モ三ツ三ツリ、即チ一ヲ認ムレハ二ヲ、二ヲ認ムレハ三ト要
求シ其ノ實然執断ナク態度不到底ニ之應接スルニ堪ハズ依テ德永種
草課長ハ斯ル背信行爲ヲ不快トシ其ノ反省ヲ求メタルモ青野氏ハ頑ト
シテ異ノ主張ヲ譲ラズ遂ニ交渉ハ停頓シ止ムナキニ至レリ依テ青野局
長ハ此ノ儘ニ以テ解決ノ見込ヲ著カス之を以テ上野日ヲ遷延スルモ效果ナ
キモノト認メ東亞ノ希望ヲ斷斷シ公正妥當ト認メタル調定案ヲ作製シ別紙
八月三日之ヲ東亞ニ南興公司兩社ニ手交シ八月十八日迄ニ其ノ諾否
ヲ答メタリ、又東亞側ニ於テ青野局長ハ此ノ調定案ニ對シ、
右ニツキ南興公司ハ直チニ承服ノ調書ヲ提出シタルニ東亞ハ當時再三
ノ説得ニ拘ラズ遂ニ調書ヲ提出セズ交渉ハ再ヒ行詰ルニ至レリ
茲ニ交渉中隔々同年八月月上旬東亞長谷川社長及坂谷事務長事件ノ爲ニ拘

引ケラレタリトノ情報アリ元々調書提出ノ意思ナキ青野氏ハ右ノ理由
トシテ交渉延期方申出テ全然通宜ノ處置ヲ講スルコトナク其儘延滞ヲ
引上ケタリ
細目協定ニ關スル經過前記ノ如クニシテ今日東亞ニ於テハ交渉決烈ノ
責ハ總務側ニアルカ如ク宣傳シ居ルモ事實ヲ歪曲セラルル甚シキモノナ
リ
二昭和十八年四月佐治專賣局長出張ノ序ヲ以テ廣東關係當局ニ對シ從來
ノ經過ヲ報告シ其ノ諒解ヲ求メ東亞ヲシテ速ニ調定案ニ對スル回答ヲ
爲サシムル様協力ヲ懇請シタリ、
三其後廣東總領事館ニ於テハ五月十三日附テ以テ總領事館ヲ調定案ヲ關
係者ニ傳達セラレタリ、
本館雖チ中心トシテ廣東總領事ト雖總督府外事部長外ノ間ニ電報ヲ
以テ意見ヲ交換シ爲セズモ尙總督府核心タル東亞ヲ特殊ニツキ監視シ

調査案タル東亞五一南興公司四九ノ事柄ニテ到底承服スル能ハサル
トコロニシテ五月三十日外事部長ヨリ總領事宛左記通知ヲ發シ
五月三十日一書ヲ發シ
外 事 部 長
...

東亞五一南興公司
...

第三六

貴電第四九號及第五〇號ニ關シ

貴電ニ依リ更ニ關係當局トモ慎重協議ノ結果當方ノ意見ハ左記ノ通りニ
シテ貴方御提示ノ條件ヲ以テハ到底圓滿解決ノ見込ナキ情況ナリ
就テハ貴方ニ於テ御再考御余地ナシトセハ當方トシテハ從來ノ經緯上本
府トシテノ面目問題モ有之旁々本事業經營ニ關シ新ナル考慮ヲ爲サザル
ヲ得サルコトトナルヘキ處右考慮ヲ爲スニ先タチ今一應貴方ニ於テ御再
考御煩ハス余地ナキヤ御何處候條何分ノ御回示願度
記

本件ハ貴地關係機關一發決定セルモノナルニ本件ハ昭和十六年十
二月三十日三省連絡會議ニ於テ廣東ニ於ケル煙草ノ經營ハ南興公司ヲ
シテ經營セシム、但シ其ノ増資割當ニ關シテハ過去ノ經緯ニ鑑ミ適正
ノ措置ヲ爲スヘシトノ決定アリタル旨正式通報ニ接シタルヲ以テ本府

ニ於テハ増資割當比率ノ如キハ當然當事者ニ一任セラレタルモノト解
 其ノ當時具體案ヲ作ルニ東亞側モ大體承諾セシメ不
 拘其ノ後東亞側ニ於テ種種ノ困難ナキ不該當ニ依リ斯ク遷延シテ本件
 解決ヲ實行セシメ速ニ遺憾ナク考へ居ルニ應今日ニ至リ當方ニ何等ノ連絡
 ナラズニ當事者ニ一任方決定セシメ割當比率ノ如キ迄費方ニ於テ決定セ
 ラレタルモノト本府トシテ到底了案セシ難キ處ナリ

ニ海興公司ノ以テ臺灣總督府事務廳代行政務廳及民生部變更シテ東
 亞ノ子會社トナルコトカ本府ノ政務進行上不可能ナル點相及ビ今回
 海興ガ廣東ノ以テ對照スルモノニモサハルコトハ前電ヲ通シテ容
 易ニ解決得ルコトト存ス

三本府ハ從來ヨリ廣東ニ於ケル産業經濟ノ建設ニ關シテハ能ク限リノ協
 力ヲ爲サントスル意圖ヲ以テ及ハス作ラ努力シ來リタル次第ナルカ體
 章事業モ亦其ノ協力ヲ一環トシテ考慮シタルモノナレバ營利事業トシ

ニノ觀點ノミヨリ判斷セラルルコトナク廣東ト臺灣トノ各般ニ亘ル緊
 密ナル協力關係ノ綜合的觀點ニ於テ太局的ニ考慮セラレシコトヲ希望
 ス

廣東總領事ト臺灣總督府トノ間ニ右交渉中偶々南興公司岡田取締役香
 港出張ノ際途廣東ニ立寄り右交渉ノ内容ヲ聞知シタルヲ以テ總領事館
 ニ工藤總領事代理ヲ訪問シ總領事館ノ上京不在中ニ東亞側南興公司乘取
 ノ野望ヲ目指ス持株五十一株ヲ到底知出ル旨ヲ説明シタルヲ以テ
 三對シ工藤總領事代理ハ東亞ノ持株五十一株廣東市場ノ評價額ノ五十分
 ノ意味ニシテ南興公司全体ノ株半額ニ關係大ナル旨ヲ明言ナリ

尚爲金川邊書記生ヲ領事公室ニ招致シ本解釋ニテ正確ナル旨ヲ同書記
 生モ同様明言セシメタリ依テ岡田取締役直方ニ之ヲ事實局ニ報告セリ

總領事館ノ前記案ハ前記外事務部長早ニ廣東關係當局ニ發給セシメた後
 后の提案ハ見ルハ右事務廳ノ要請ニ依リ總領事館ニ於テハ自案ヲ徹
 行スルハ當然ナル點ハ前記外事務部長早ニ廣東關係當局ニ發給セシメた後

同シテ再々兩者協議ノ上解決ヲ爲スル事トシ海峽ヲ出サレタリ
然レトモ兩者ノ直接交渉ノ既通ノ如ク細目協定ニ於テ東亞側ノ遲延策
ニ依リ停頓狀態ニ在リ之レガ進歩ハ東亞側ニ於テ誠意ヲ示ササル限り
打斷ノ途ナキコト斷カサレトモ電報專電局ニ於テハ編輯部ノ右通達
ヲ尊重シ十八年六月佐治局長ト東京ノ上東亞ノ關係ヲ交渉開始方申入
レラレタリ然ルニ東亞ハ交渉ニ何等ノ權限ヲ有セサル支那人ヲ出頭セ
シメ再三督促セルモ遂ニ責任者ハ出頭セス東亞ノ態度キレテ漸ク至無
誠意ナルニ於テハ交渉ノ前途ニ望ミナキモノト認メ東京セラレタリ
以上ノ經過ニ依テ察知セラルルカ如キ東亞カ終始一貫南興公司ノ支配
權獲得ヲ固執シテ認ラズ漸ク之レヲ説得シテ木原板谷協定ヲ決定シタ
ル後ニ於テハ執拗ニモ尙之レカ打破ヲ策シ更ニ現廣東工場移轉後同地
ニ自己ノ營業所又ハ工場ノ設置權ヲ要求スル等其ノ獨立的根柢ヲ精算
セサルニ於テハ本件ノ解決ハ不可能ニシテ警備ノ南支政策上漸ク遺憾

トスルトコロナリ
東亞ハ自ら稱スル如ク本邦煙草事業界ニ於テタルモノニシテ廣東工場
ノ持株ニ於テ南興公司ニ一歩譲ルトシテモ東亞全体ヨリ觀テ極メテ些
少ナル讓歩ニ過ぎズ然ルニ督府ニトリテハ南興ノ讓歩ハ南支煙草事業
ニ對スル主動性ヲ喪失スル結果トナルヲ以テ絕對ニ一毫譲歩セザルトコ
ロナリ幸ヒ持株比率ヲ關スル廣東煙草總事務所ノ見界ハ工場移轉事ハ言明セ
ル如ク東亞五一ノ主張ハ更ニ廣東工場ノ人ミニ關スルモノナラザリ以テ本
見界ヲ以テ進メハ東亞ノ持株ハ大体ニ於テ南興公司全株數ノ三割程度
トナリ木原板谷協定ニ近キモノトナルヲ失策ナリ
東亞ハ今日ニ至リ木原板谷協定ヲ簽本ヨリ覆サムトシテ本協定ハ木原
局長カ將來南興公司ノ南方ハノ權限ハ伴テ増資新株ノ割當比率増加ヲ
認メラレタルコトヲ條件トセシメ現狀ニ於テハ其ノ實現性無キヲ理由ト
セル事斯ル米原局長ノ言ハ右實情ヲ希冀シ之ニ向ツテ勢力シ之レカ實

現シタル場合ヲ假定シテ觀ハサルニト解スルニキモ、トモモトモ畢竟東亞
ハ未原板谷協定ヲ覆サズトスル理由ノ發見ニ苦シク、斯レ見解ニ據ルキ
言辭ヲ弄ズルモノト解スヘキナリ
東亞側ニ於テハ本件紛糾ヲ重キ解決ヲ遲延セシメタル原因ハ臺灣側關
係官ノ交送相重ナリ新ナル具驗ヲ生シ、初メ根本方針ヲ忘却セル結
果トシ、其ノ結果全然行方不明ニシテ、居ルモ東亞自ラ當初ノ紳士協
定ヲ承認シテ、東亞ニ進出シ、其ノ後ノ新ニ社設立等並ニ増資等ハ共
ニ中央又ハ其ノ他諸局ノ許可ナルトコロトナラス之レヲ放棄スルノ已ム
ナキニ至リ問題ハ已ニ回轉シテ新ナル發足ヲ爲セルニ拘ハラズ尙南
興公司乘取ノ野望達成ノ爲メ、督府ヲ南支政策ノ如キハ一顧モヒサル
ノミナラス事實ヲ故意ニ牽強シテ非ヲ臺灣側ニ歸ヒシムトスル態度コ
ソ本件解決ノ妨トナリ居ル次第ナリ

昭和十六年十二月三十一日廣東三省連絡會議決定ニ基ク臺灣總督府專賣
局調定要綱左ノ如シ

廣東煙草經營ニ關スル調定要

- 一、廣東ニ於クル東亞煙草株式會社以下單ニ東亞煙草ト稱スルノ煙草經
營ハ株式會社南興公司以下單ニ南興公司ト稱スルノ煙草經營ヲ完了ト共
ニ南興公司ニ引續キ連ニ其ノ名義變更ヲ行フコト
- 二、南興公司ハ名義變更後直ニ代金ヲ東亞煙草ニ支拂フモノトス
- 三、東亞煙草廣東工場其ノ他諸物件ノ買收價格ハ臺灣總督府專賣局並ニ
舊事者立會ノ上受渡時期ニ於クル現在物件ニ對シ評價價格ヲ以テ決定
スルモノトス

評價價格ニ於テ意見ノ一致ヲ見サル場合ハ臺灣總督府專賣局、現地關
係當局、内外地專賣家及舊事者ヨリナル評價委員ヲ設クテ再評價ヲ行
フモノトス

評價委員ハ臺灣總督府專賣局之ヲ委嘱ス

尙營業權利金トシテ金五拾萬圓ヲ南興公司ヨリ東亞煙草ニ交付ス

三代金ノ支拂ハ引續ト同時ニ之ヲ行フ如ク手配スルモ關係當局ニ對スル

手續上遲延スルトキハ引續ノ日ヨリ計算シ未拂代金ニ對シ年七分ノ割

合ニテ南興公司ヨリ東亞煙草ニ利子ヲ支拂フモノトス

四南興公司ヨリ東亞煙草ニ支拂フヘキ代金ハ中新株ニテ支拂ヒ取ルガ

部分ニ付テハハ引續當局ノ許可スル限度ニテ廣東ニ於テ支拂フモノト廣東

ニ於テ支拂フ能ハサル部分ニ付テハ北ニ於テ支拂フコト

五東亞煙草ハ現ニ廣東工場ニ於テ使用スル土地建物ハ南興公司ニ於テ一スビ

テ南興公司カ使用スルモノトスルコト恒シ南興公司ニ於テ一スビ

トアルノ引續當局ノ許可スル限度ニテ廣東ニ於テ支拂フモノト廣東

ニ於テ支拂フ能ハサル部分ニ付テハ北ニ於テ支拂フコト

六東亞煙草廣東工場及同出張所従業員並ニ工員ハ現員現給ノ額南興公

司ヨリ引受クルコト

七東亞煙草カ廣東ニ於テ現ニ使用スル土地建物ハ南興公司ニ引受クルコト

八廣東ニ於ケル從來ノ東亞煙草ノ販賣時約店及販賣契約ハ其ノ儘南興公

司ノ時約店トシテ引續クコト

九東亞煙草ハ其ノ資本系統ヲ以テ廣東ニ於テ煙草工場ノ經營ヲ行ハサル

モノトス

東亞煙草ハ其ノ社製造ノ從來移入タル銘標製造煙草ヲ販賣スルコト

廣東ニ於ケル營業所ヲ存續スルモノトス但シ其ノ製造煙草ノ販賣ニ

付テハ南興公司ト協調ノ上之ヲ行フコト

一〇南興公司資本金ヲ百萬圓増資ノ場合ハ臺灣拓殖株式會社以下單ニ

臺灣拓殖ト稱スル及東亞煙草株式會社各三〇%トシ其他四〇%トス

將來再増資ノ際ハ於ケル持株比率ニ付テハ今回ノ組織無異前項ノ比

14

率ニ拘ラス別ニ考慮ス
 一 南興公司ノ社長ハ臺灣總督府專賣局長之ヲ選定ス
 臺灣拓殖及東亞煙草ハ各一名ノ事務取締役及同數ノ取締役並ニ監査役
 ヲ参加セシメ一般株主中ヨリモ役員ヲ参加セシムコト
 臺灣拓殖株式會社社長及東亞煙草株式會社社長ヲ相談役ニ委嘱ス
 二 南興公司ノ發展ノ爲メ之ヲ連營ニ付テハ臺灣拓殖及東亞煙草一並協力
 スルコト
 臺灣拓殖及東亞煙草ハ各南興公司株ヲ轉讓セントスルハ臺灣總督
 府專賣局長ノ指示ニ依リ優先的ニ相互間ニ於テ之ヲ行フコト
 三 將來南方方面ニ南興公司力進出シ得ル如ク臺灣總督府專賣局長ニ於テ努
 カスルコト
 四 其ノ他引續キ關シ疑義ヲ生シタルトハ臺灣總督府外事部長ノ裁定ニ
 依ルコト

東亞煙草會社廣東工場譲渡條件 (十七年五月 青野廣東支配人提出)
 一 廣東工場ノ買收價格ハ次ノ通り決定アリタキコト
 (1) 營業權ヲ金五拾万圓トシ
 (2) 實休財産ハ專賣局及當事者立會ノ上受渡時期ニ於ケル再調達價格ヲ
 以テ査定スルコト
 二 前項實休財産ノ評價ニ際シ當事者ノ意見一致セザル場合ハ營業權ヲ合
 計左記評價委員會ニ於テ再檢討ノヒ適正價格ヲ査定スルコト
 廣東三省連絡會議 臺灣總督府專賣局長 東京及現地專賣家當事者
 三 南興公司増資新株ヲ以テ買收代金ヲ支拂ヒ能ハサル部分ニ付テハ廣東
 二 於テ現金ヲ以テ支拂アリタキコト
 四 過去ノ經營ニ拘泥セス南興公司株主中ノ新舊株通算ニ當リ持株並ニ退
 株ハ各參照シテ一律株主株ハ四〇%ノ限ニ付テハ大譲渡スルコト
 五 將來更ニ増資株ヲ割當ルトハ前記ノ比率ニ依ラズ今次ノ當社持株議 15

歩ニ對シ報ヲルコト
 六 香港海南島を合シ南方片領地域ニ於ケル煙草事業ノ進出ニ付、新南
 興公司ヲ設立シ當テタルコト
 時ニ香港公米トシテ及歐性煙草工場ヲ建カニ接收セシメ再地賣ヲ
 考メ其々キヲ行ハシメテ
 七 新南興公司ノ社長ハ官議トシ、董事及當社ハ各一名ノ選任、取締役ト同數
 取締役候補者ヲ選任シ、一般株主中ヨリモ役員ヲ参加セシムルコト
 八 三松經次氏、梅一貞氏、公議、二村テハ、皆局ニ一任スルコト、同氏ハ
 九 新南興公司製造煙草ノ販賣並配給ヲ當社廣東出張所ヲシテ行ハシメ、
 レタセコト
 十 軍用品依託製造ニ關シ、南支派遣軍ト當社ノ間、千數重ナル契約アリ、新南
 興公司ヘ引續ノ請願ヲ得ル迄、前記買収ニ關スル一切ノ件暫ク公表ヲ差
 控ヘラレタセコト

新南興公司評價概要
 (一) 事業ノ概要

全社ハ臺灣專賣煙草ノ製品及原料煙草並ニ酒類其他專賣品ヲ對外販
 賣ヲ取扱ヒ、廈門、汕頭、廣東、海南島、廣州、香港、南支各地ハ
 固ヨリ上海、比島、ボルネオニ輸出シ、向他ノ南方地域ニ轉出計畫中
 ナリ
 廈門、汕頭ニ於テハ現地軍當局ノ許可ヲ得テ、自前年夏夫々工場ヲ設
 置シ、現地ニ於テ全社自ラ製造ヲ開始シ、今日之及ヘリ
 更ニ昭和十八年五月漢口政廳ノ許可ヲ得テ、同地工場ノ設置ニ着手シ
 全年十二月上旬操業ヲ開始セリ
 原料煙草ノ耕作ニ就キ、當局ノ許可ヲ得テ、臺灣島内ニテ耕作セリ、外
 厦門、汕頭、海南島ニ於テモ耕作中ナリ、有煙草工場ハ厦門、汕頭及海
 南ノ三地ナリ
 一般煙草工場ノ施設ハ、捲煙機ノ振動ト、他ノ機械器具及其ノ他ノ

施設ハ捲上機ノ台數ニ適應セシムルガ故ニ捲上機ノ台數ハ工場能力
 ノ「ハロー」ノ「ター」ト見ルヲ普通トス
 全社ノ捲上機台數ハ廈門工場七台、汕頭工場九台、澳門工場七台計
 十八台ニシテ一年平均一億本トシ、廈門三台ハ舊式ナルヲ以テ
 三台ニテ一億本ト見ルノ年産十六億本ノ製造能力ヲ有ス
 厦門工場ハ土地建物ハ軍ヨリ借用セルモノニシテ之ニ大改修及増築
 ラナレタル外倉庫二棟、「ボーラー」室一棟、荷直及守衛詰所一棟ヲ
 新築シ更ニ宿舍ヲ修築セリ
 汕頭工場ハ古鎮直后軍ノ幹旋ニ依リ土地建物及現施設ノ一部ヲ買収
 之ニ修築改造ヲ加ヘ別ニ隣接借入地ニ倉庫三棟、葉煙草乾燥室一
 棟、職工食堂及休憩所一棟ヲ新築シ宿舍ニ大改修ヲ加ヘタリ、尙全
 工場ハ獨立地帯ニシテ構内ニ生産能力ヲ倍加シ得ベキ擴張余地ヲ有
 ス。澳門工場ハ土地建物共ニ民間所有ノモノヲ借入レ之ニ修築ヲ加

ヘ別ニ「ボーラー」室一棟ヲ新設シタルモノナリ、
 右ノ外厦門ノ工場ハ製造能力三六〇〇箱ノヲ有シ泰國ニ於テハ軍
 管理ノ下ニ清酒工場ハ製造能力三六〇〇箱ノヲ建設中ニシテ其ノ他
 海南島ハ製造能力三六〇〇箱ノ及廣東ハ製造能力一八〇〇箱ノニ
 於テモ酒工場計畫中ナリ

「ボーラー」室一棟ヲ新設シタルモノナリ、
 右ノ外厦門ノ工場ハ製造能力三六〇〇箱ノヲ有シ泰國ニ於テハ軍
 管理ノ下ニ清酒工場ハ製造能力三六〇〇箱ノヲ建設中ニシテ其ノ他
 海南島ハ製造能力三六〇〇箱ノ及廣東ハ製造能力一八〇〇箱ノニ
 於テモ酒工場計畫中ナリ

有價証券	煙草	酒類	商材	原材	樹皮	假草	煙草	芝草	銀取	現金
九一三	五四九	一五五	七四三	一三三	六三五	二八一	二八一	二八一	二八一	二八一
八八二	九四九	二二八	三八八	一三三	一七三	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
五五五	九六六	二四八	八八九	一三三	一七三	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
二六五	四六五	一六八	二八九	一三三	一七三	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
一五五	三六五	一六八	二八九	一三三	一七三	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
〇七五	二六五	一六八	二八九	一三三	一七三	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
〇七五	二六五	一六八	二八九	一三三	一七三	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七

諸預金	手形金	受取金	繰上金	貸出金	借入金	未拂込金	土地建物	什器具	投資
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六
一五七	四四九	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六	〇四六

未探込資本金	新株式三、〇〇〇株ニ對ス、 ル一株二〇圓宛	六、〇〇〇、〇〇〇
土地建物	廈門煙草工場及酒工場、汕 頭煙草工場、蘇州煙草工場、 同	九、八、八、〇〇
機械器具	同	一、六、〇、八、四、〇、〇
營業什器	販賣用器具、事務什器	二、五、五、五、〇、〇
有價證券	益分半利、支那煙草 株式會社、煙草株式會社、 同	九、一、三、八、八、一、五、五
煙草工場	原料、材料、其他	五、四、九、四、九、六、五、七
酒工場	同	一、二、五、二、二、四、一、六
原料	同	七、四、三、八、八、八、九、〇
掛買金	同	一、二、三、三、三、三、三、三
貸出金	同	二、八、八、四、五、五、五、五

煙草耕作	八三二七九三六
受取手形	五八五六〇〇〇
銀行預金	一六四四二五四九
現金	二九六一八三九
合計	五五二八二五四三七

(四) 専賣局代行機關トシテノ無形資産

(1) 煙草原料葉煙草ノ輸出

全社ハ、専賣局代行機關ニシテ當局ノ有スル現在十九年度五十億本ノ製造能力中島内消費ヲ控除セル殘餘額ハ全社ノ輸出能力ト見ルヲ得ヘク現在南支一團、比島及「ボルネオ」等ニ輸出シ居ルモノ之ニシテ此ノ外葉煙草モ其ノ輸出ヲ全部取扱ヒ現在汕頭廈門ハ勿論香港、海南島、廣東等ニ輸出シ居リ此ノ資産コソ全社無形資産ノ第一ナリ

(2) 原料確保並ニ運輸資金ニ對スル優越的地位

現在ノ狀態下ニ於テ煙草事業消長ノ中軸ヲナスモノハ原料葉煙草確保ノ難易ニアリ

現ニ外地所在工場中換葉ヲ短縮シ或ハ休止タルモノナキ狀態アルハ煙草原料入手難ニ基因ス、全社ハ所要原料ハ總テラ當局ヨリ拂下テ受テ得ル地位ニ在リ必要ニ應ジ豫定計畫ノ所要量ヲ容易ニ入手

シ得之レ他ノ追從ヲ許サザル無能資産ノ第二ナリ
更ニ一般煙草事業者ハ原料葉煙草出願期ニ於テハ最少限度一ヶ年
分ノ所要量ヲ買入ル準備セサルハカラズ然モ技術的ニ圓滑ナル事業
ノ經營ヲナスニハ二ヶ年分以上ノ在庫ヲ保有スル必スアリ從而運
轉資金ノ大部分ヲ之ニ投スルヲ煙草事業ノ常態トスノ全社ハ前述ノ
理由ニ依リ多量ノ貯蔵ヲ要セズ必要ニ應ジテ拂下チ受領スルヲ以テ
其ノ運轉資金極メ少額ニテ是ル從來全社ハ資本金ガ他ノ煙草製造
會社ニ比シ格段ノ貯蔵アリシハ之ガ爲ナリ之無能資産ノ第三ナリ
(8) 拂下代金延納ニ依リ利益アリシハ之ガ爲ナリ之無能資産ノ第三ナリ
專賣品輸出ニ當リテハ代金延納ノ制度アリ以テ運轉資金ヲ輕減シ得
ル優勝的地位ニアリ之レ無能資産ノ第四ナリ
(9) 技術員等ノ人的資源上ノ利益
本邦ニ於テハ煙草事業ガ政府ノ專賣ニ屬スル關係上技術者ヲ民間
リ得ルコト容易ナラス又之ガ養成ハ早急ニ出來ザル爲新設會社若ク

ハ事業後遺力ニ擴張シタル會社ハ等シク技術員ニ不足シ居ル狀態ナ
ルモ全社ハ常局ノ外地ニ於ケル代行機關タルノ關係上必要ナル技術
員及ビ事業員ハ何時ナリトモ融通シ得ル關係ニアリ、現在各地工場
ニ配置シタル技術員ハ總テ當局ニ於テ多年養成シタル者ニシテ全社
ノ人的資源ニ於テモ又大ナル給源ヲ有ス之無能資産ノ第五ナリ
(6) 原料轉送上ノ利益
今日原料ノ乏シキ地域ニ於テ經營セル工場ハ何レモ輸送難ノ爲己ニ
閉鎖シ又ハ休止ニ瀕セルモアリ、全社ハ原料供給源ガ現地工場
所在地ト比較的近距離ニアルヲ以テ機帆船又ハ帆船ヲ利用シテ輸送
スルコトヲ實現ニ汽船ニ依ル輸送ノ外自ラ機帆船ヲ備給又ハ特約シ
カレガ輸送ヲ實行シツ、アリ
之等船腹ノ獲得機帆船等ニ就イテモ實に經營ノ幹旋ヲ得前記地理的
關係ト之等督府ノ援助トハ全社ニ特別ノ地位ヲ有スルモノニシ
テ之レ無能資産ノ第六ナリ

(6) 製品販賣統制
 廈門、汕頭ニ於テハ全社ノ製品ヲ供給シ、汕頭ニ於テハ軍ノ輸送
 品ヲ其ノ煙草ノ供給ヲ全社ニ一元的ニ統制セシムルヲケリ
 (7) 其他
 以上煙草事業以外全社ハ
 (1) 廈門及海南島ニ於ケル酒工場ノ經營ヲ廣東ニ於テハ酒工場ヲ軍管
 理ノ下ニ經營ヲ計畫中ナリ
 (2) 臺灣、厦門、汕頭ニ於テハ煙草耕作事業ヲ經營ス
 (3) 島外ノ精製鹽ノ一手輸出並ニ汕頭、厦門ヘノ食鹽輸出
 (4) 廣東古麻袋ノ臺灣輸入
 (5) 最近泰國ニ於ケル酒工場ヲ經營ス
 等ノ事業ヲ爲シツツアリ、更ニ又南支以外ノ地域ニ於テモ企業計畫
 中ナリ

三 東亞煙草會社廣東工場評價概要

工場業績(昭和十七年四月)

月別	平均一日 運轉台數	製造個數	販賣個數	純益	金
昭和十五年 八月	六〇	一、四四七	一、二六七	六、六八二	四七
九月	六五	一、八七〇	一、三三三	九、四一七	四〇
十月	七〇	二、一〇七	一、四三四	一、四一七	四七
十一月	六四	一、七八五	一、五九六	七、九六三	四四
十二月	六七	一、九四四	一、五〇七	七、四六七	三七
昭和十六年 一月	六四	一、二八六	一、四八九	六、五二七	四四
二月	五七	一、三九一	一、四二四	五、〇八四	六六
三月	四六	一、〇九八	一、四一八	七、四一四	五七
四月	五二	一、一六二	一、二二五	七、六四八	五二

便所手洗場	一	一〇四三〇〇
コンクリート床其他	一	一四七〇六六六
工場前道路改修	二	三八三二〇〇
倉庫改築	二	一四五六八〇〇
地盤焼却	一	五一八〇〇
乾燥冷却機蒸気配管	一	一三三〇〇
中骨濕留装置	一	一五四七五
守衛詰所及正門	一	二〇四二五〇
宿直室	一	四九三〇〇
營業所	一	一一〇〇四五
計	一	六九八八二四
(2) 概内計	一	一〇四三〇〇
巻上機	七	六八六四七四六

全 (手廻式)	二	八八四二〇〇〇
乾燥冷却機大	一	一六一五五五五
全 小	一	一八三三六一二
湿機	一	一一四四六九九
加倉機	一	三七八二三五
裁刻機	八	一六九八四六二
全	一	一三五六四六
砕機	一	一八四二九八
全	一	一〇八四六
袋貼機	二	一四四九九〇
歴機	二	一三二二七五
木型機	一	一三六〇
排風機	一	一三三九

(ハ) 結局廣東工場譲渡價格ハ左記ノ如シ

實体資産價格 金貳百拾八萬九千八百拾圓九拾六錢

設備資産價格 金貳百九拾五萬四千八百貳拾四圓七拾四錢

増設一合當推定極高 金六百拾四萬九千九百五圓七拾錢

考 稼高評價説明

(内) 夜益明算定

増設去益少算ヲ實純益ニ基テ收益還元額

増設工場設備設備七合ニ依ル廣東工場過去一ケ年ノ純益ハ別表ノ通

リ増設五拾貳萬八千六百拾貳圓拾參錢也

但シ此還元率ハ大蔵省營業總算定率(七分)ニ據ラズ外地ノ特

殊事情ヲ考慮シ一割トス

收益還元額 1,528,812.13 ¥ 0.8 = 7,643,060.65

即チ廣東工場過去一ケ年ノ收益ハ資本金七百六拾四萬參千圓ノ
年利額リ二割ニ相當ス

現存機械台數ニ對スル推定純益ニ依ル收益還元額

現有機械台數ヨリイノ期間ニ於ケル實際平均運轉台數ヲ差引タル

餘力運轉台數ノ推定極高ヲ求ムベキモノナレドモ之ヲ嚴シ目下増

設中ノ停止機三台ノ二割シ意合器リ極高ノ四分ノ三ヲ推定單位

トシテ算定ス

過去一ケ年一合當極高 1,528,812.13 ¥ 7 = 218,373.19

増設一合當推定極高 218,373.19 ¥ 4 = 873,492.76

増設二合當推定極高 1,651,779.87 ¥ 3 = 4,955,339.61

上記収益還元額

491,135.00 50.8 4,455,866.50

（イ）東亞煙草株式會社ノ主張セル廣東煙草工場評價ニ就テ
東亞煙草株式會社ハ廣東煙草工場及其ノ經營ヲ南興公司ニ移管スルニ當リ最
初權利金（暖簾代）トシテ參百九拾五萬圓ヲ要求セリ之レ同工場
建設當時臺灣側ノ物心兩面ニ亘ル協力ヲ無視シ恰モ自己ノ獨力ニテ
建設シタルカ如ク裝ヒ一切ノ道義ヲ設却シ自己利益ノ追及ニ餘念ナ
キ結果斯ル不當ナル要求ヲ敢テ爲シタルモノト信ス
之ノ要求ヲ不當ナリトスル理由

（ロ）廣東工場ハ共同經營ハ別ニ會社ヲ新設シテ一ノ約束ノ下ニ臺灣ヨ
リ派出セル技術者ノ手ニ依リ建設シタルモノニシテ東亞ハ遊休機
械ト當座ノ運轉資金トヲ提供シタルニ過ス
（ハ）利益ヲ墨少得タリトシテ之レ全ク臺灣側ヨリ供給シタル原料葉
煙草ヲ使用シテ臺灣ヨリ派出セル技術者ニ依リ收穫シタルモノナ
リ

（ニ）廣東工場ハ共同經營ハ別ニ會社ヲ新設シテ一ノ約束ノ下ニ臺灣ヨ
リ派出セル技術者ノ手ニ依リ建設シタルモノニシテ東亞ハ遊休機
械ト當座ノ運轉資金トヲ提供シタルニ過ス
（ハ）利益ヲ墨少得タリトシテ之レ全ク臺灣側ヨリ供給シタル原料葉
煙草ヲ使用シテ臺灣ヨリ派出セル技術者ニ依リ收穫シタルモノナ
リ

（イ）東亞煙草株式會社ノ主張セル廣東煙草工場評價ニ就テ

東亞煙草株式會社ハ廣東煙草工場及其ノ經營ヲ南興公司ニ移管スルニ當リ最
初權利金（暖簾代）トシテ參百九拾五萬圓ヲ要求セリ之レ同工場
建設當時臺灣側ノ物心兩面ニ亘ル協力ヲ無視シ恰モ自己ノ獨力ニテ
建設シタルカ如ク裝ヒ一切ノ道義ヲ設却シ自己利益ノ追及ニ餘念ナ
キ結果斯ル不當ナル要求ヲ敢テ爲シタルモノト信ス
之ノ要求ヲ不當ナリトスル理由

（ロ）廣東工場ハ共同經營ハ別ニ會社ヲ新設シテ一ノ約束ノ下ニ臺灣ヨ
リ派出セル技術者ノ手ニ依リ建設シタルモノニシテ東亞ハ遊休機
械ト當座ノ運轉資金トヲ提供シタルニ過ス
（ハ）利益ヲ墨少得タリトシテ之レ全ク臺灣側ヨリ供給シタル原料葉
煙草ヲ使用シテ臺灣ヨリ派出セル技術者ニ依リ收穫シタルモノナ
リ

